

2011年10月1日以降に当院心臓血管外科で静脈鬱滞性潰瘍に対する手術を受けた患者さんおよび受ける予定の患者さんへ

## 課題名：外科治療を行った静脈鬱滞性潰瘍の治療成績に関する検討

### 1. 研究の対象

2011年10月1日以降に当院心臓血管外科で静脈鬱滞性潰瘍に対する手術を受けた患者さん、受ける予定の患者さんが対象です。

### 2. 情報の利用目的および利用方法

下肢静脈瘤は頻度の多い良性の慢性疾患ですが、最重症になると下腿難治性潰瘍（静脈鬱滞性潰瘍）をきたし、日常生活に大きく影響します。静脈鬱滞性潰瘍の治療は静脈血流の改善が最善と考え、当院心臓血管外科では積極的に手術療法（下肢静脈瘤血管内焼灼術、内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術）を行っています。静脈鬱滞性潰瘍に対する手術の短期間の治療成績は良好ですが、長期間の治療成績は報告されていません。5年間の治療成績を検討して、手術を行った静脈鬱滞性潰瘍の治療成績を明らかにしたいと思います。研究期間は倫理委員会の承認日から2023年11月30日です。

方法は静脈鬱滞性潰瘍に対する手術前後の自覚症状の改善、潰瘍治癒の有無、合併症の有無、超音波検査所見、静脈機能検査結果を定期外来受診時に5年間にわたってデータを集積し、術後有意に改善が得られたかを統計学的に比較検討します。

### 3. 研究に用いる情報の項目

対象患者さんの年齢、性別、既往歴、自覚症状、診察所見、手術所見、超音波検査所見、静脈機能検査結果などカルテに記載される一般的な診療情報を用います。この研究にあたり新たに患者さんに負担をかけることはありません。

### 4. 情報を利用する者の範囲

研究責任者のみがデータ集積、解析を行います。外部機関などにデータを提供することはありません。

### 5. 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を開示または入手することができますので、お申し出ください。

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先に問い合わせてください。また情報が本研究に用いられることについて了承いただけない場合は研究対象としないので、対象者本人あるいは代理人の方が下記の連絡先にお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**[問い合わせ先]**

川崎医科大学心臓血管外科学 講師 田淵 篤

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

TEL:086-462-1111

E-mail: [tabuchi@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:tabuchi@med.kawasaki-m.ac.jp)